

SEMINAR 生命科学セミナー

海洋性二次共生藻の光合成炭素代謝

辻 敬典 博士

京都大学 大学院生命科学研究科 博士研究員

5月8日（水）16:00 - 17:00

農学・生命科学研究棟（北部構内）1階セミナー室（2）

真核藻類は、共生により光合成の能力（＝葉緑体）を獲得した集団であり、単系統ではなく多系統である。モデル生物として知られる緑藻クラミドモナスは、シアノバクテリア由来の葉緑体を持ち、その代謝系は陸上植物と共通する点が多い。これに対し、海洋の主要生産者として知られるハプト藻や珪藻は、真核藻類を取り込む「二次共生」により葉緑体を獲得したため、緑藻や陸上植物とは系統的に異なる分類群に属する。代謝においても珪藻やハプト藻などの二次共生藻類は、デンプンを蓄積せず尿素回路を持つなどの特長を有し、緑藻や植物とは異なる。

本セミナーでは、二次共生藻類の代謝とその制御について、緑色植物と比較しつつ最近の知見を紹介する。

Graduate School
of Biostudies

連絡先: 京都大学大学院生命科学研究科

微生物細胞機構学分野（福澤 秀哉、内線 4298）